

物流効率化の取り組み

2023年10月20日（金）

（株）ラルズ 松尾 直人

アークスグループとは

アークスとは

北海道・東北・北関東の各地に拠点を置く食品スーパー10社と
その他の事業会社1社を擁する食品流通グループです。

アークスグループ



横山社長

グループ総店舗数 377店舗
(2023年10月3日時点)



ラルズ
札幌市



ユニバー
ス 八戸市



ベルジョイ
ス 盛岡市



福原
帯広市



道北ア
ークス 旭川市



東光
ストア 札幌市



道南
ラルズ 北斗市



道東ア
ークス 北見市



伊藤チ
ェーン 柴田町



オータ
ニ 宇都宮
市



エルデ
イ 札幌市

数字で見るアークス

売上高

5,662億円

国内の主要食品スーパーのなかで、
第4位の売上高を達成しています。



年間客数

2.2億人

当社グループの食品スーパーには年間約2.2億人、
1日あたり約600万人の来店客が訪れます。



カード会員数

321万人

当社グループ共通の「アークスRALSEカード」の稼働店舗数は
2022年度末まで5万人増加し、321万人を達成しました。



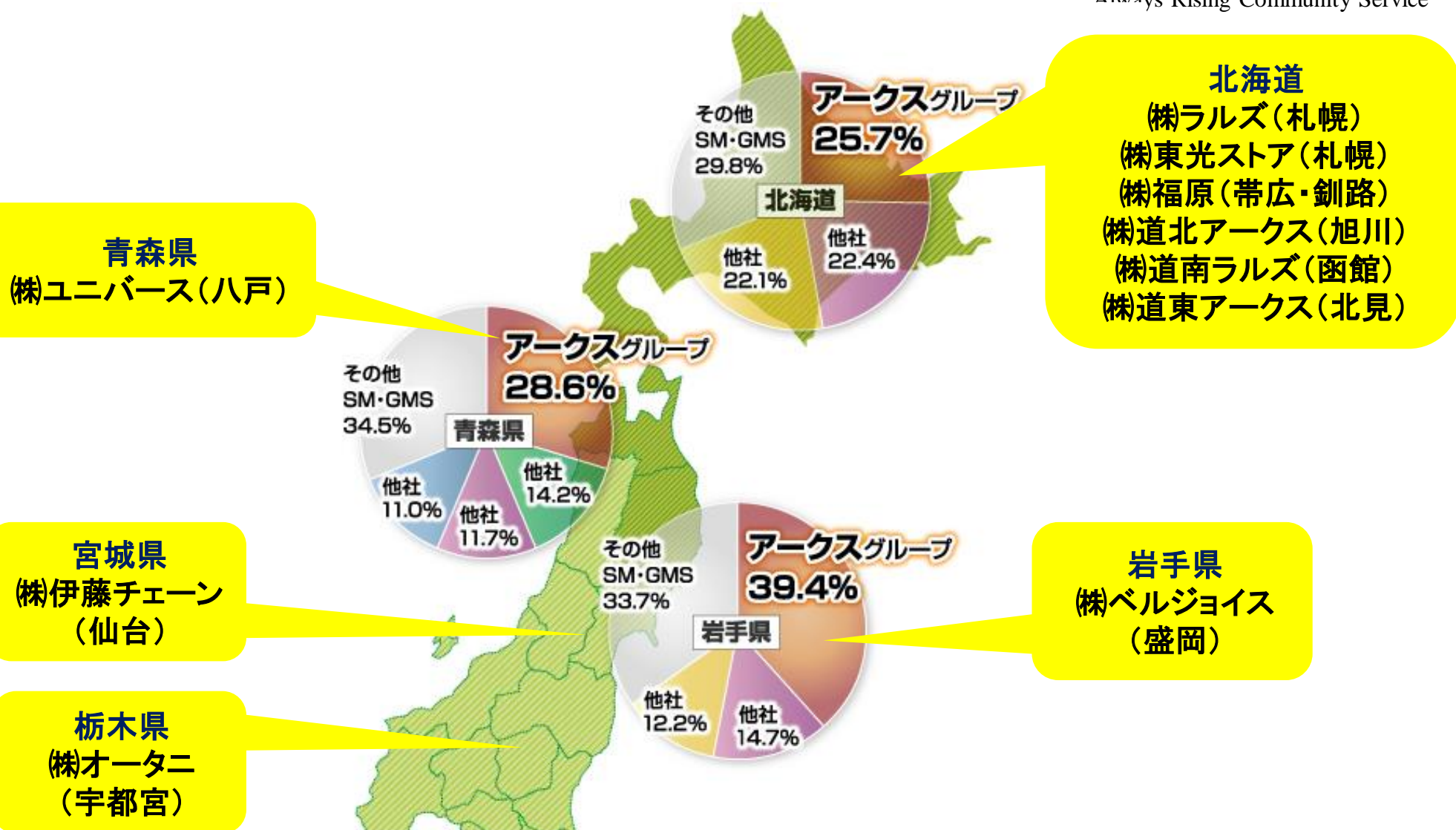
従業員数

3.0万人

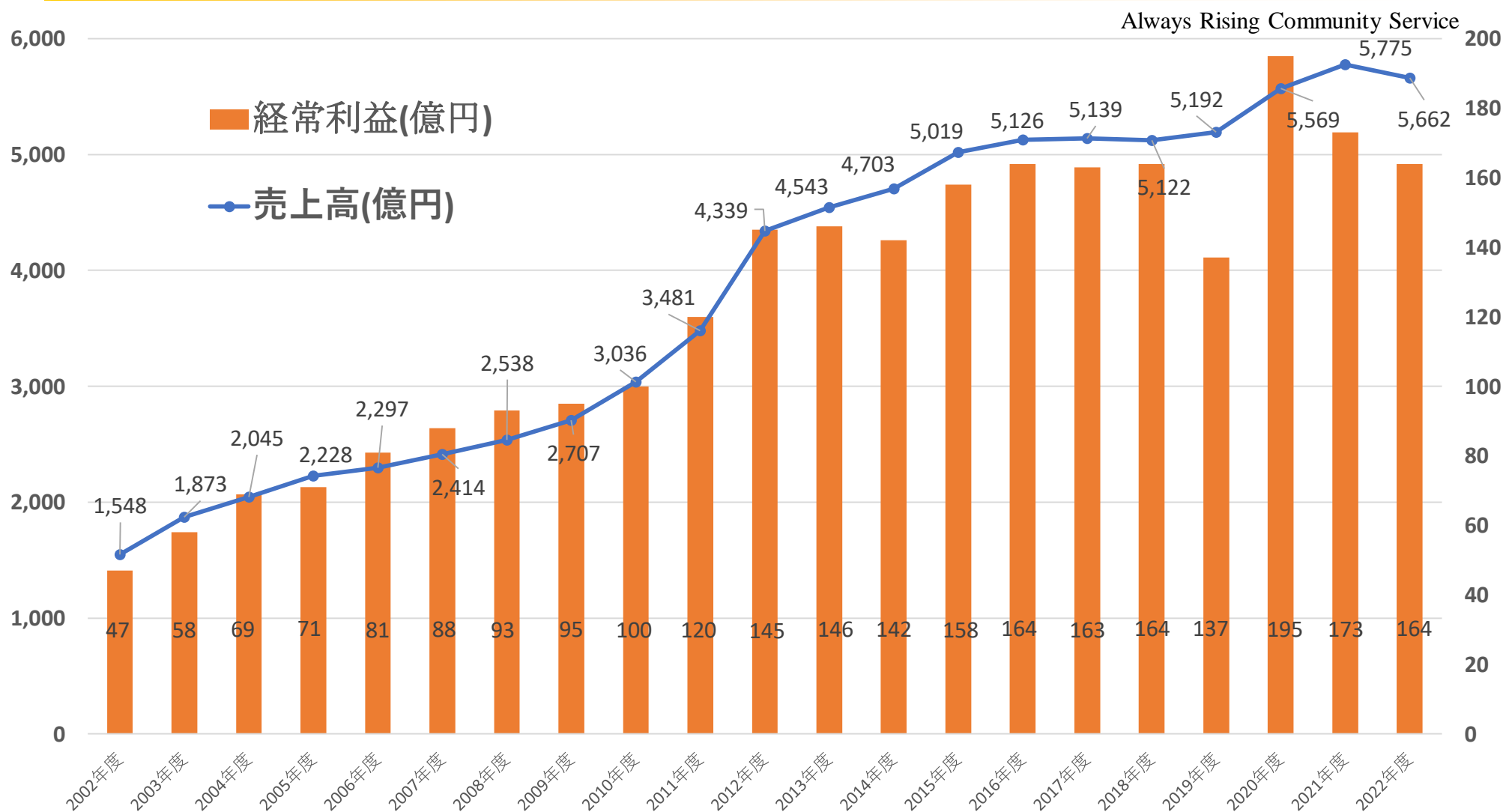
約3万人の従業員が地域のライフラインを支えています。



展開エリア … スーパーマーケット：10社、店舗数：377店舗



売上高・経常利益の推移



新たな価値の創出

様々な経営資源を活用し、新たな価値を提供し続けています

。



▼アークスオンラインショップ



▼Amazon、アークスネットスーパー



▼アークスアプリ



1) 慢性的人手不足と人件費の高騰

- 従業員80%がパートさん、販管費の約60%が人件費である典型的な人件費産業
- 外国人技能実習生の雇用（ミャンマー、ネパール、ベトナムより約270名）
- DX投資（センター内マテハン投資）

2) エネルギー価格の高騰（ラルズ実績）

- 特に電気料金の高騰、売上の約7%が電気料金
- 2022年度の増額：526,276(百万円)、134.3%
- 2023年度の増額：245,164(百万円)、111.9%

3) 原材料価格の高騰と値上ラッシュ

4) 物流費の高騰（ラルズ実績）

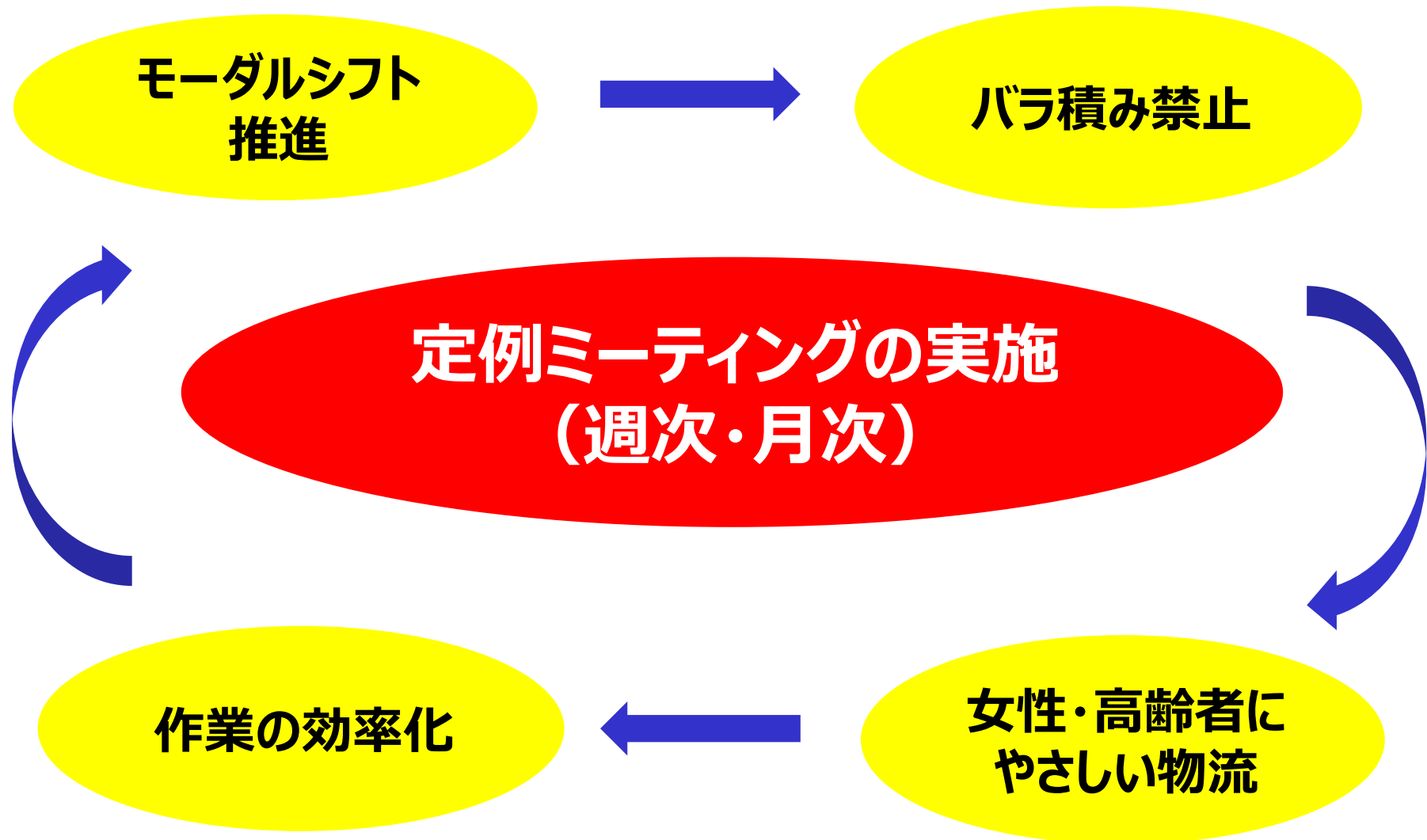
- ガソリン価格の高騰（軽油価格…2020年：115円⇒2023年：165円以上）
- 1日30,000km走行、1日約7,500Lの燃料使用、現状価格なら年間1億円の負担増

5) コロナ禍およびアフターコロナに於ける、お客様の購買行動の変化

- 過去にない2極化が始まった

物流に関する 基本的考え方

1、定例ミーティングでの意見の吸い上げ（ラルズ、卸売業者、配送業者）



2、物流2024問題への対応

1) 特売先付発注の100%実施

- アイドルタイムの有効活用により物量波動の平準化

2) 店舗納品の接車時間30分の厳守

- マテハンの定位置管理、整理整頓

3) メーカー引き取りの接車時間30分の厳守

- 引き取り車両の正確な手配

4) 納品リードタイムの延長

- D+0 → D+1

5) 商品の搬入口渡し of 徹底

- ドライバーは運転に専念、定時運行の厳守

6) 積み残し物量の後回し納品

- ①定時納品：定番商品、②後回し納品：特売対象商品

配送の改善事例

モーダルシフト推進



Always Rising Community Service

1) 海上輸入コンテナ

➢ 道内通関

2) JR貨物輸送

➢ 中部以西

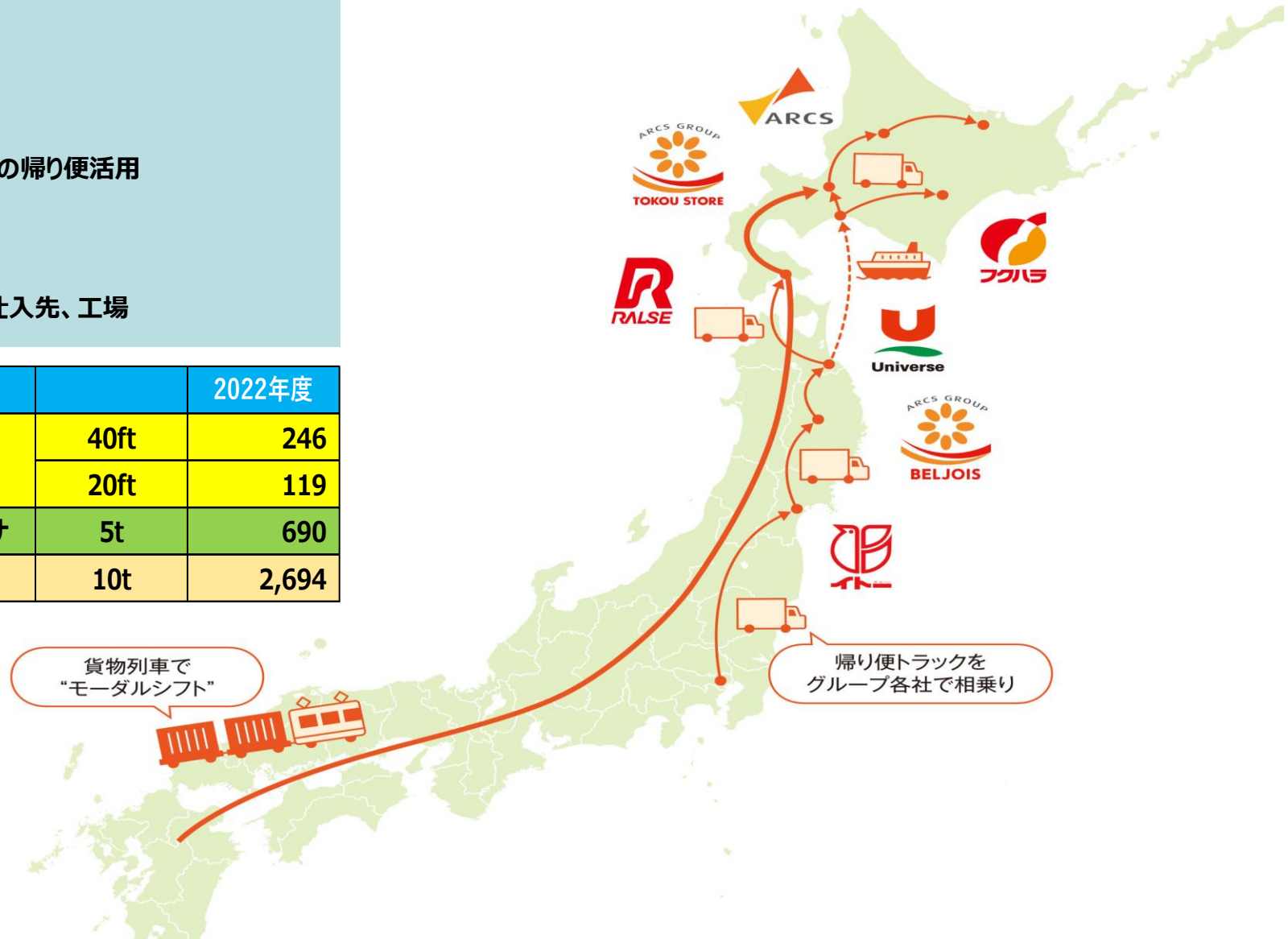
3) 長距離輸送は10トン車の帰り便活用

➢ 関東近郊商品

4) 店舗配送の帰り便活用

➢ 道内近郊農家、仕入先、工場

			2022年度
海外輸入コンテナ	船舶	40ft	246
		20ft	119
JR貨物	JRコンテナ	5t	690
トラック輸送	トラック	10t	2,694



1、モーダルシフト推進



AlwaysRisingCommunityService

1、海上輸入コンテナの道内通関推進

- ・石狩新港、苫小牧港の通関拡大
- ・チリ産サーモン、アントニオデニーロ(パスタ)、ブラジル産鶏肉、プリンスデバオ(スペイン)、タイ産玉葱、フライパン(中国)、土鍋(中国) 他

2、JR貨物輸送推進

- ・中部地区以西はJR貨物輸送推進
- ・熊本・佐賀産玉葱、福岡産八女みかん、長野産シャインマスカット、熊本産ブロッコリー他

3、長距離輸送の帰り便活用

- ・関東からの仕入は北海道→関東の10トン車の帰り便活用
- ・大田市場、JAふくしま(もも・なし)、JAはが野(イチゴ)、JA北つくば(レタス)、JA旭村(水菜)

4、店舗帰り便の活用

- ・近郊農家産直 ➢ 東川町(矢澤さん)、長沼町(矢田さん、三木田さん、片山さん)
- ・千歳空港空輸引き取り ➢ 美ら海まぐろ(沖縄)
- ・取引先からの引き取り(全体の約70%)
札幌中央市場、旭川食糧、中央食糧、ホクレン、ホクリョウ、国分北海道、コカコーラ、あらた

2、東川町矢澤さんちからの産直①

施策：キャベツ輸送 バラ積み輸送 → パレット輸送

実施：2021年6月～

目的：① ドライバー労働の軽減、② 高齢者、女性にやさしい作業

結果：① ドライバー労働の大幅削減

② 変更前：積み込み（2h）→運転（2h）→下ろし（2h）

変更後：積み込み（30分）→運転（2h）→下ろし（30分）

③ TOTAL:6時間 → 3時間（3時間削減）

④ 10トン車2台(800箱×2台) → 10トン車3台(512箱×3台)

➤ 積載率：約64%

BEFORE



AFTER



3、東川町矢澤さんちからの産直②

施策：ブロッコリー輸送 バラ積み → ドーリー、クレート輸送

実施：2021年6月～

目的：① ドライバー労働の軽減、② 高齢者、女性にやさしい作業

結果：① ドライバー労働の大幅削減

② 変更前：積み込み（2h）→ 運転（2h）→ 下ろし（2h）

変更後：積み込み(30分) → 運転（2h）→ 下ろし（15分）

③ TOTAL：6時間 → 2時間45分（3時間15分削減）

④ 重量：ブロッコリー＋氷＝13kg→MAフィルム10kg

⑤ 資材コスト：400円/箱→250円/箱

⑥ 店舗品出し時間：2～3倍の品出し

BEFORE



AFTER



BEFORE



AFTER



作業の改善事例

1、女性・高齢者にやさしい物流

1) マテハン什器の小型化



1100×800
耐荷重：500kg



850×650
耐荷重：250kg



1310×425
耐荷重：300kg



転倒事故防止、女性でもハンドリング可
店舗品出しに於いてもパートさんでも可

悪天候時に於ける対応

大規模災害時に於ける対応

1、悪天候時の対応

1) 店舗到着時間の決め事 ～ 前後30分以内

➡ 悪天候時は店着時間の拘束を解除

(台風、大雪、高速道路閉鎖、事故他)

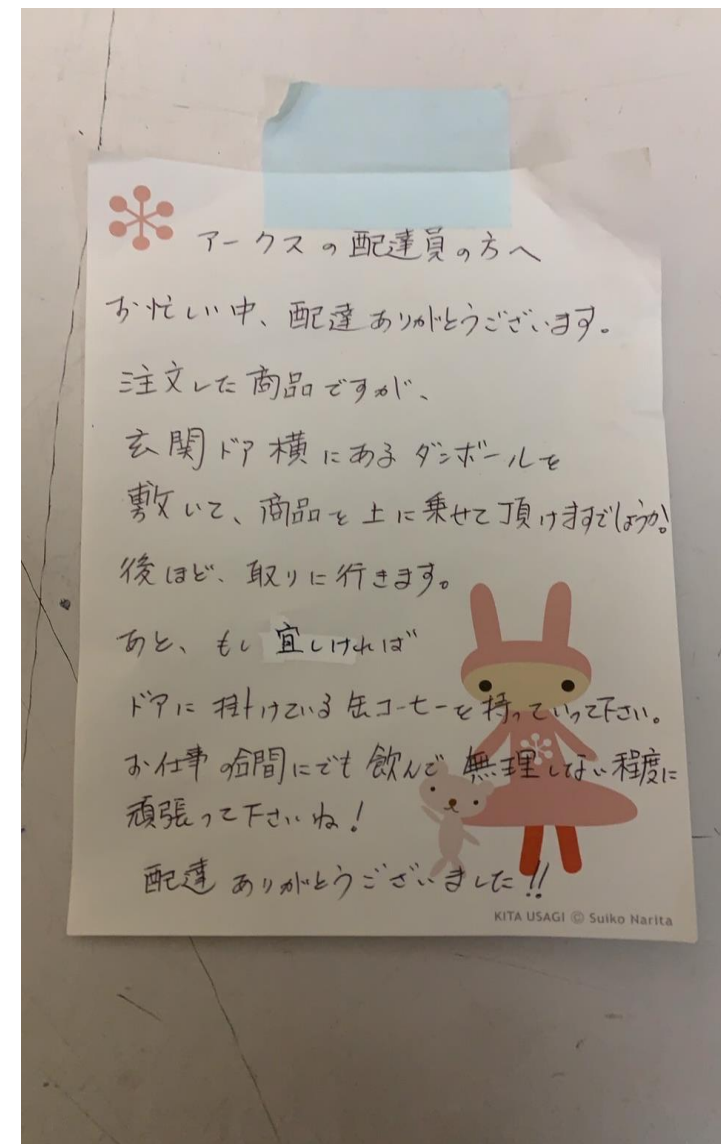
2) 事前予測時の対応 ～ 30分前出発の実施

➡ 前日、市場、取引先へ連絡

3) スーパーマーケットの使命

『地域のお客様のライフラインを守る』

一方でドライバー、従業員の安全



2、東日本大震災

1) 支援物資の提供

- ① 自衛隊恵庭駐屯地への供給 ➡ 松戸駐屯地へ（飲料水、カップ麺他）
- ② 東北陸運(株)石巻営業所への供給（飲料水、カップ麺他）
- ③ 黒松内銘水(株) ➡ 東北陸運(株)石巻営業所（風呂、洗濯用、トイレ用の水）

2) 商品供給

- ① キリン御殿場工場からアルカリイオン水の供給
キリン御殿場工場 ➡ CGC栃木JDセンター ➡ ラルズ石狩生鮮センター
- ② 韓国眞露よりミネラルウォーター緊急輸入
- ③ 鹿児島県志布志よりトレーラーにて仕入
- ④ 黒松内銘水(株)へ、伊達・室蘭の店舗帰り便を毎日4トン車4台引き取り

3、北海道胆振東部地震



Always Rising Community Service

1) 支援物資の提供

- ① 札幌市保健所要請で高齢者福祉施設へお弁当10000食供給
 - ② センター在庫の災害時物資（飲料約6000ケース）店舗納品
 - ③ 停電の中、店頭にて貯め銭にて販売
 - アイスクリーム、冷凍食品の無償提供
- ※ 法務コンプライアンスグループ、品質管理グループより

2) 商品供給

- ① 黒松内銘水(株)へ、伊達・室蘭の店舗帰り便を毎日4トン車4台引き取り
- ② CGC災害時商品供給システム稼働
 - 全国各地区本部より10トン車約30台が札幌へ
- ③ お弁当の供給スタート（原材料表示は手書き記入にて）

4、2022年1～2月の大雪対応

1) アークスオンラインショップが大活躍

2) スーパーマーケットの使命

『地域のお客様のライフラインを守る』

反面、ドライバーの安全をどう守るか？

3) 配送効率が1/3に！

通常：1時間6件の宅配 ➡ 大雪時：1時間2件の宅配

お客様から感謝の声が続出

ドライバーのモチベーション大幅に向上